

**研究課題名：**横須賀市消防局におけるメンタルヘルス推進の試みーストレスチェック集団分析と産業医面談を通してー

**所属：**精神科

**研究責任者（職名）：**藤代 潤（部長）

**研究期間：**平成 30 年 12 月倫理委員会承認時より平成 32 年 3 月 31 日まで

**研究目的と意義：** 第 13 次労働災害防止計画に示される通り職場のメンタルヘルスは重要なテーマであり具体的な配慮と対応、行動がすでに求められている。一方職場におけるメンタルヘルス対策はストレスチェックをはじめとし未だ黎明期にあるとあってよく、実地に活かすことのできるデータや経験の蓄積は浅く、多くの組織で手探りの状態が続いている。産業医の役割については労働安全衛生規則 14 および 15 条に規定があり、今日までの施策の結果、その役割は広く浸透していると考えられるが、しかしメンタルヘルス活動における産業医（の役割や位置づけ）についてはいまだ不明確な点もあり、現場によりまた産業医個人によって活動に差異が生じている。こうした中、近隣市との組織合併を経験したばかりの横須賀市消防局では、意欲的取り組みとして平成 29 年度と 30 年度の 2 年度にわたり幅広い職員に対し産業医面談を行った。H29 年度には全職員に対し、H30 年度には勤続 5 年以下の職員に対し産業医等が面接を行った。H30 年度には所属長（消防署長クラス）が部下を直接面談する試みも行った。それらの結果と 3 年前から実施されているストレスチェックによる集団分析結果とをあわせ、横須賀市消防局におけるメンタルヘルスの現状評価を行い産業医のメンタルヘルスにおける役割を再考するとともに消防組織におけるメンタルヘルスの重要性について、今回の意欲的・先進的取り組みをもとに若干の検討と考察を行う

**研究内容：** H29 と 30 年度ストレスチェックの集団分析結果と、H29 および 30 年度横須賀市人事部によって行われた横須賀市消防局職員の産業医面談結果、および H30 年度に行われた職長（消防署長クラス）による面談結果から、個別事案や部門や集団ごとのメンタルヘルス上の対応・処置や対応などについて検討する

**利用する情報と資料：** 対象者は H29 年度 30 年度に横須賀市消防局に常勤職員として勤務していた方（これらの方は横須賀市総務部人事課実施によるストレスチェックおよび両年度に実施された横須賀市産業医による個人面談が行われています）で、対象者の匿名性を保ち、研究結果は個人の特定ができないようにプライバシーの尊重と保護に配慮する。研究によって得られた情報は本研究以外では使用しない。

**問い合わせ先：**

研究担当者 氏名：藤代 潤

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 fax：046-827-1305 受付時間：月～金 09:00～17:00（祝祭日を除く）